

近江八幡市立桐原幼稚園

日時：平成 23 年 10 月 20 日(木) 13:30~17:30
平成 23 年 10 月 27 日(木) 9:00~16:00
フィールド：園近くの桜公園

1 日目は講座、下見、プログラム作りを行います。2 日目は作成したプログラムを実践した後、ふりかえりを行いプログラムの完成度を高めます。

1 日目：「プログラムづくり」

桐原幼稚園の近くにはきれいに整備された桜公園があります。今回は公園での自然体験プログラムを作ります。

はじめに自然体験学習についての講義があり、幼児の自然体験の意義や目的、プログラム作成のポイント学びます。続いて公園に出かけ、フィールドワークを行います。フィールドワークではプログラム作成に向けてのポイントなどのアドバイスを受け、実際に自然体験をしながら使えそうなものを探します。続いて、3 班に分かれグループごとにどのようなプログラムにするか考えます。ぜひ使いたい物、感じて欲しいことが決まれば、プログラムの構成を考えます。園に戻ってより良く自然を感じるための導入、プログラムの流れ、時間配分を決めてプログラムが完成です。



▲講義



▲講師による自然体験のポイント解説



▲様々な色のイチョウを集め、手触りの違いや自然の循環について学びます



▲木に触れ、暖かさの違いを感じます



▲班に分かれてプログラム作り

2 日目：「プログラムの実践」

2 日目はいよいよ作成したプログラムの実践です。3 班がそれぞれ作成したプログラムを実践します。

「くらべてみよう！さがしてみよう！」 のプログラム

公園内には桜をはじめ、数種類の樹木が植栽されています。本プログラムでは、探検隊になって木に触れたり観察したりします。続いて、「クモがついている木」、「ツルツルする木」、「花が咲いている木」などのお題に当てはまる木を探す「木探しゲーム」を行います。プログラムを通して、発見する喜び、楽しさを感じることで、また同じ木でも触るとザラザラ、ツルツルなど異なる感触があるように、木にはいろいろな特徴があることに気づく、そんなプログラムです。

ポイントと次につながるヒント💡

- ・子どもの発見やつぶやきに共感しましょう
- ・木探しゲームでは子どものつぶやきから興味を持っていることや、わかりやすいことを選び、お題にしましょう



この木はどんな木かな～？

ツルツルだ!!



お題にあう木はどれかな～？



▲木探しゲーム

「木ともだちになろう」 のプログラム

公園内には大きな木があります。木に触って、音を聞いて、木を見上げて、木とお話しをし、友だちになります。そして、友だちになった木になりきって、全身を使って木のポーズをとります。木と友だちになってよく観察することで、同じ木でもよく見ると一本一本違うこと、違うことが良いことに気づく、そんな豊かな感受性を培うプログラムです。

木の音が聞こえるかな!?



木になりきってはいポーズ!!



ポイントと次につながるヒント💡

- ・木の感触や音などの友だちの気づきを、他児も共有できるようにしましょう
- ・一本の木を違う角度からも観察して木のポーズをしてみましょう
- ・一本の木を取り上げて、一年間の変化を観察しましょう

電車になってみんなで色探し!!



「いろいろあるね!みて、さわって、くらべてみよう」 のプログラム

みんなで散歩をして色々な色を探します。「感触+色探しゲーム」では「フワフワの白」、「ツルツルの緑」、「ザラザラの赤」などのお題を出し、そのお題にあった自然物を探します。見つけたらみんなに紹介しましょう。また、自然物と人工物を比べ、色の違いや感触の違いを比べます。友だちと比べあいつこをする中で、共感したり違いに気づいたりします。プログラムを通して、色の名前は同じでも、色合いや感触に違いがあることに気づく、そんなプログラムです。

こんな色のもの
見つけたよ!!

ポイントと次につながるヒント💡

- ・同じ色でも色合いや感触に違いがあることを伝えましょう
- ・探す時は視線が下に偏らないよう、見上げるなどの誘導をしましょう

研修に参加した先生の声

- 自分自身が自然に対してもっと興味を持って積極的に保育に取り入れていかないといけないと反省した。植物や虫の名前や姿、成長なども知らないことが多いので自分自身が知識を持つことも大切だと感じた。
- 自然に対して分からないことがたくさんあると気づいた。もっともっと色々知りたいと思った。
- 身近な自然ひとつで様々な発見や楽しみ方があることを知り、参加してとても良かった。
- “自然”というテーマは大きく扱いづらい印象を持っていたのですが、一つ一つに着目して関心を持つこと、発見することでどんどん広がっていく事を感じた。大人の知識を子どもに伝えるよりも、一緒に体験することが大切だと実感した。
- 普段自分が知らなかったことを知ることができ、子どもたちの発見や気づきから勉強することができた。
- 今回の自然体験の研修では、私自身も子どもの気持ちになって体験できた。何でかな?と私自身も自然物に疑問を持ちながら、これからも保育していきたい。
- はじめて会う先生と計画するのは難しかったが、他の園の先生と交流ができてよかった。
- 自分自身が感動したり、楽しさを感じることで、子どもたちにも伝えていけると思う。